

アカペラの響き

- 2009.08.28 Friday
- 23:34



• 何げなく、アピタでの買い物のついでにCDショップに寄り、東芝のお気に入りシリーズを見ていたら10%オフでこんなアルバム集発見！

「ベスト・スピリチュアルズ100」

6巻からなり、中世から20世紀の作品まで100曲網羅しています。詳しくは[ここで](#)。。

2・3巻は特にルネッサンスからバロックにかけての作品で
前回の演奏会から挑戦している作曲家たちの作品も多く、
今我々ががんばって挑戦しているアカペラの響きの勉強になると思われます。
5巻「レクイエム」は代表的なレクイエムなど。。

主要レクイエム以外でお勧めはお気に入りのプッチーニのグローリア・ミサ
この曲は大学時代混声で歌ったのですが、何せピアノ伴奏。

歌いた〜いと前の合唱団でアピールしたものの、モーツァルトメインの合唱団だったのでかなわず(；_；)

あと珍しいところでは、やはり歌ったことがあるのですが私自身は溶け込まなかったプーランクのグローリアが6巻に入っています。聴くにはおもしろいかも。。

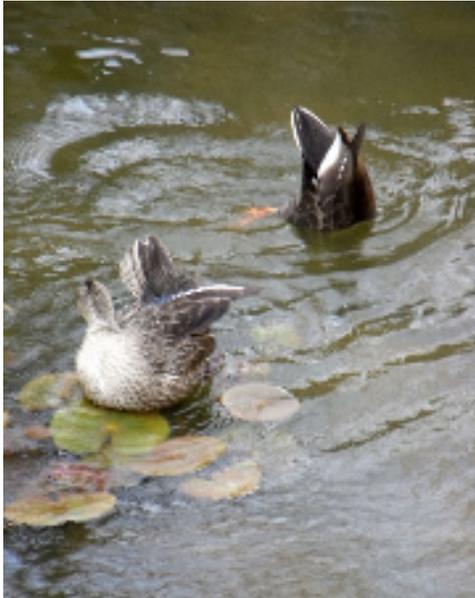
。。。いろいろ楽しめ、響きあう素晴らしさを満喫できるアルバムだと思います。

興味のある方はお買い求めくださいね！

損はしません！ただし、くれぐれも宗教曲好きの方に。。。です(笑)

感謝！

- 2009.08.24 Monday
- 11:49



● 昨日は定例練習の前に技術スタッフ、団長、副団長に加えて神谷先生&ひとみ先生に参加いただき、技術委員会をやりました。

先生方は実は、かなりお忙しい！

神谷先生は出張や学校の仕事がたて込んでとてもお疲れ、(ちょい出たお腹が最近引っ込んで痩せたよう、大丈夫？とお婆様方は心配・・・)

ひとみ先生は岐阜でのコンクールの伴奏を済ませて 高速飛ばして参加して下さった！

今の団の各パートの状況とここ半年のポイトレの内容を知っていただき、

また 神谷先生の今取り上げてくださっている曲への思いなどを綴った

久しぶりの「つれづれなるままに」を読ませていただき、

ちょっと緊張したけれど思い切って先生方にお声をかけてよかったかな？

と思っています。

当たり前のように受けている先生方の毎回の指導。

実は、かなりの努力の上に成り立っていること、改めて団員は心しないといけないでしょうか。。

今回出席できなかったポイトレ毛利先生もいつも「よお～いドン！」の態勢でいてくださる。

先生方、ありがとうございます。感謝してます！

技術スタッフへの課題もいくつか出ました。

定例練習で先生に負担をかけないように、受身にならないように、

自分たちで形を作っていくかといけないな・・・と思った1時間。

う～ん・・・何から手をつけたらいいんだ～と

池の中のえさを探すカモのような技術委員長でございます。とほほ・・・

少しずつしかできませんが、ぼちぼちでんな。。ですね。

言葉のリレー

- 2009.08.17 Monday
- 23:34



しあわせな
言葉ひとつで
満ちてゆく
心はふしぎ
と 思う

優しい言葉をかけてもらおうと、優しい気持ちになって
今度は誰かに 優しい言葉を使いたくなる。
ぐるぐる ぐるぐる 優しさは、めぐる。

温かな言葉をかけてもらおうと、温かな気持ちになって
今度は誰かに 温かな言葉を使いたくなる。
ぐるぐる ぐるぐる 温かさは、めぐる。
しあわせな言葉が
ぐるぐる ぐるぐる 心の中で循環するという不思議。
言葉に頼りすぎではいけないけれど
言葉を惜しんではいけない、と思う。

• 心が澁んでるな、固くなってな・・・と思うと「中島未月」さんの↑の五行詩のブログを読んで自分を省みる。
先週の女声特練&定例の夜、
アルトPLさんから届いた携帯メール「お疲れ様でした」の言葉にウルウル。
3時間の緊張にくたくたになった体からす〜っと疲れが消えてゆくのがわかった。
言葉って素敵な魔法だと思う。
(その言葉に甘えすぎではいけないと言い聞かせつつ・・・)
今度は自分が誰かにその魔法をかける番かもしれないな・・・と思って
買ったシール式の便利な50円切手。
まず届いたはがきのこの切手に笑っちゃうかもね(笑)
旭にはこんな素敵な老若男女の魔法使いがいっぱいいます。
ありがとう♪

魔法にかかりたい方、特に男声新入団員募集中です！

音を楽しもう～。

- 2009.08.02 Sunday
- 20:14



長久手文化の家でとても愉快的イベントがあった。
「おんぱく」という音の博覧会みたいなもの。

プロのオケの人たちが楽器などの紹介を各部屋で趣向を凝らして伝えてくれ、子どもから大人まで好き好きにそれぞれの部屋を訪問し、楽器に触ったり演奏を聴いたりできるわけ。

1人1000円のチケットは完売だったけれど、私は町のカメラ講座の生徒として許可証をいただいて撮影しつつ参加。
久々に持つカメラは自然に子どもたちの輝いた目に釘づけとなった。

いい表情の子どもたちをいっぱい撮ったけれどネット上では見せられず残念。

心の底から音を楽しんでいる子どもたち、(いや大人もいたわ)を見ると、原点に戻ることができる。

さあ、今年の遅い夏、
残りの”良寛相聞4番”を楽しむことができるようになるといいな。
そういう意味で、次回の神谷先生のお留守のP練 有意義に使えますように。

